

無形文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無01-15-5/5)

目 的

我が国の無形文化財、並びに文化財保存技術の伝承実態を把握し、その保護に資するため、伝承の基礎となる技法・技術の実態や変遷の調査研究、及び資料の収集を行い、現状記録の必要な対象を精査して記録作成を行う。

成 果

1. 戦国時代の謡のリズムは江戸時代以降とは異なっていたこと、桃山時代の旋律が多く当時のアクセントに従っていたことを解明し、能楽学会、日本演劇学会、無形文化遺産部公開学術講座などで公表した。
2. 染織技術のうち、埼玉県の熊谷染の事例を中心に、原材料や道具の入手・メンテナンスの状況等の調査を行い、報告書にまとめた。また、伝統技術の伝承に関する研究会を東京文化財研究所で、染織技術と材料の関わりを検討するための研究会を文化学園服飾博物館との共催で開催した。
3. 義太夫節浄瑠璃の曲節の実演集（東京文化財研究所所蔵レコード）について、収録内容を整理し公表した。
4. 連続口演の機会が激減している講談について、一龍斎貞水師と神田松鯉師による実演記録14席を作成した。また、上演が稀な落語の正本芝居噺について、林家正雀師による実演記録2席を作成した。

論文

- ・菊池理予「復刻銘仙の製作と技術の伝承—分業のこれから—」『きものモダニズム』須坂クラシック美術館 pp.138-141 15.9
- ・高桑いづみ「室町時代のアクセントと謡のフシ」『無形文化遺産部研究報告』10 pp.76-90 16.3
- ・飯島満『七代目豊沢広助 義太夫の種類と解説』東京文化財研究所 40p 16.3

報告

- ・菊池理予「道具と技術の関わり—熊谷地域の染色工房を調査して—」『無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究報告書』東京文化財研究所 pp.39-46 15.9

発表

- ・高桑いづみ「地拍子の古態—早歌からの継承—」能楽学会 早稲田大学 15.6.21
- ・高桑いづみ「シンポジウム 能の復元的上演の可能性—「能」を現代に蘇らせる手法—」日本演劇学会 法政大学 15.10.25
- ・菊池理予「染織技術の伝承 その現状と課題—熊谷と京都を事例として—」無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究会Ⅱ 東京文化財研究所 15.11.11
- ・高桑いづみ「明治以前の謡とアクセント」無形文化遺産部公開学術講座 東京国立博物館平成館 15.12.18

刊行物

- ・『無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究報告書』東京文化財研究所 15.9
- ・『無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究会Ⅱ「染織技術の伝承と地域の関わり」報告書』東京文化財研究所 16.3

研究組織

○飯島満、高桑いづみ、菊池理予、佐野真規（以上、無形文化遺産部）、早川典子（保存修復科学センター）、星野厚子（客員研究員）

第10回無形文化遺産部公開学術講座 (①無01-15-5/5の一部として実施)

2015(平成27)年12月18日、東京国立博物館平成館大講堂において、「邦楽の旋律とアクセント—中世から近世へ—」と題して公開学術講座を行った。入場者数309名。

プログラム

講演1 高桑いづみ(無形文化財研究室長)「明治以前の謡とアクセント」

実演1 と話 謡の復元「松風」ほか

実演 味方玄(観世流能楽師)

講演2 坂本清恵(日本女子大学文学部教授)「近世邦楽とアクセント」

実演2 と話 長唄「鶴亀」ほか

実演 稀音家義丸(長唄演奏家)・日吉栄寿(長唄三味線演奏家)・杵屋三澄那(長唄三味線演奏家)

無形民俗文化財研究協議会 (②無02-15-5/5の一部として実施)

無形文化遺産部では、無形民俗文化財の保存・継承に寄与することを目的として、毎年無形民俗文化財研究協議会を開催している。第10回にあたる本年度は「ひらかれる無形文化遺産—魅力の発信と外からの力」をテーマとし、無形民俗文化財がどのように文化の魅力を発信し外部の力を呼び込むべきか、あるいは外部の者が地域伝承にどのように関わるべきかについて報告・討議を行った。その成果は報告書として刊行した。

日 時：2015(平成27)年12月4日(金) 10:30~17:30

会 場：東京文化財研究所 セミナー室

参加者：154名

テーマ：「ひらかれる無形文化遺産—魅力の発信と外からの力」

内 容：

【発表】

松井今日子(芸北民俗芸能保存伝承館)「壬生の花田植がユネスコ無形文化遺産になるまで—地域住民による保護と継承活動に着目して」

五十嵐千江(関川しな織協同組合)「関川のしな織—伝統技術による地域活性化と文化継承活動について」

柳沢拓哉(八戸ポータルミュージアム)「八戸ポータルミュージアムはっちの取り組み」

狩俣恵一(沖縄国際大学)「沖縄からの発信—竹富島の種子取祭芸能の継承—」

【総合討議】

上記報告者と下記コメンテーター、コーディネーターによる総合討議を行った。

コメンテーター：菊池健策(東京文化財研究所客員研究員)、小岩秀太郎(全日本郷土芸能協会)

コーディネーター：久保田裕道・今石みぎわ(無形文化遺産部)

総 合 司 会：飯島満(無形文化遺産部)